

科目分類	看護専門科目（地域・在宅看護学）	開講時期	1・2年	前期		
研究キーワード	ICF、ストレングスモデル、エンパワーメント、CGA、生活不活発病					
科目名	老年看護学特論					
英文	Advanced Study in Elderly Nursing					
選択／必修	選択	単位数（時間数）	2単位	30時間	授業形態	講義
担当教員	北村 隆子 ・ 伊部 亜希					
メールアドレス	t-kitamura@tsuruga-nu.ac.jp（北村） a-ibe@tsuruga-nu.ac.jp（伊部）	オフィスアワー	事前にメールで連絡してください。			

授業目的	<p>1. 高齢者の生活支援に必要な理論および心身機能評価方法について探求する。</p> <p>2. 高齢者ケアの現状分析を通して、心身機能の包括的なアセスメント実践能力を身につけ、生活機能の自立支援について探求する。</p>
授業概要	<p>概要：高齢者の健康生活を支援する理論および高齢者の心身機能評価法を学び、健康生活上の問題を分析するとともに、それに対する課題への解決方法を探求する。さらに複雑な健康課題を持つ高齢者と介護者および施設ケアにおける現状を文献や事例から分析し、高齢者看護を実践するために必要な理論・技術を追求する。</p> <p>授業形式：プレゼンテーションをもとに、ゼミナール形式で進める。</p>
授業計画	<p>第1回：国際生活機能分類を踏まえて、高齢者支援のあり方について考究する。 （北村、伊部）</p> <p>第2回：国際生活機能分類を踏まえて、高齢者支援のあり方について考究する。 （北村、伊部）</p> <p>第3回：高齢者の健康生活支援方法1：ストレングスモデル（北村）</p> <p>第4回：高齢者の健康生活支援方法2：ストレングスモデル（北村）</p> <p>第5回：高齢者の健康生活支援方法3：エンパワーメント（北村）</p> <p>第6回：高齢者の健康生活支援方法4：エンパワーメント（北村）</p> <p>第7回：高齢者の健康評価の理論と方法1：CGAについて（北村）</p> <p>第8回：高齢者の健康評価の理論と方法2：身体機能評価（北村）</p> <p>第9回：高齢者の健康評価の理論と方法3：精神機能評価（北村）</p> <p>第10回：高齢者の健康評価の理論と方法4：社会的・環境的評価（北村）</p> <p>第11回：高齢者の生活不活発病予防1：日中の活動性と生活リズム（伊部）</p> <p>第12回：高齢者の生活不活発病予防2：身体活動への介入（伊部）</p> <p>第13回：高齢者の生活不活発病予防3：フットケアへの介入（北村）</p> <p>第14回：高齢者の生活不活発病予防4：認知機能への介入（北村）</p> <p>第15回：高齢者ケアを担う連携・協働のあり方について（北村）</p>

教材 参考文献等	授業の中で適宜紹介する。
成績評価 基準・方法	授業中課題（提出物など）40%、授業中のプレゼンテーション60%、
履修要件	なし
関連科目	なし
留意事項 その他	なし